緑の架け橋

会報第 24 号
2014 年 06 月 30 日
日中緑化交流基金助成事業
プロジェクト代表：佐藤晴男

今だからこそ草の根の民間交流を！プロジェクト跡を訪ねましょう。

～大海の一滴が、平和へと実り根付ように～

遷西県事業地遠景　樹種：側柏
（コノテガシワ）　14 年6月

原景：2013・2

今だから緑の架け橋を

2002 年 11 月緑の架け橋推進センター設立。これは日中緑化交流基金の助成を得た事業主催・ＩＦＣＣ国際友好文化センターの呼び掛けに応えてのもの。

2008 年 11 月　緑の架け橋推進センター解散。その後、「緑の架け橋」の活動は、事業主催の IFCC 国際　友好文化センターの下で「緑の架け橋プロジェクト」として継続され、2013 年まで９つのプロジェクトを実施。８プロジェクトは終了。１プロジェクトは今年の９月で終了。

2011 年度から、それまでの寧夏回族自治区に加え、河北省・遷西県でも開始し、継続中。訪問団は第１９次までで 199 名。

2014 年で手がけたプロジェクトは終了しますが、ご参加いただいた方々の心の中で“緑の架け橋”が育まれることを祈念します。最後の記念訪問団を９月に計画したいと思います。

本会報は会員以外にも送付しております。協賛会費は 3,000 円（一口）です。協賛いただける場合、右先の口座までお願い致します。

IFCC 国際友好文化センター
〒162-0801 東京都新宿区山吹町 333 辻ビル 405
TEL. 03-3268-4387　　FAX. 03-3268-6079
口　座：中央労働金庫市ヶ谷支店（普）０８５８１１９
郵振：００１３０－９－４２５９９４
口座名：緑の架け橋推進センター
本会報は事業主催（ＩＦＣＣ）の植林プロジェクト特集となります

唐山市遷西県プロジェクト地の調査報告

実施：２０１４年6月１０日、１１日

ＩＦＣＣ緑の架け橋プロジェクト
代表　佐藤　晴男

＜はじめに＞

今回の植林派遣は「寧夏回族自治区」の８か所の植林事業が終了し､「河北省唐山市」の事業のみが継続されていることから、団を組まずに、一人で植林後の現況、踏察を短期間で行ってきた。

事業地記念碑にて

＜１日目＞6月１０日

羽田空港から早朝便で北京市へ。懸念された空模様は前日の雨でスモッグもなく快晴。北京市から唐山市までは高速道で約１８０㎞。

高速道を降りた所で唐山市青年連合会幹部と合流、唐山市郊外にあたる植林現地に向かう。車を降りて丘陵地を４００～５００m登ると急傾斜面で礫（石灰岩）などが露出しており、決して植林に適しているとは言えないが、植え方を等高線上に工夫して「側柏（コノテガシワ)」を植林してある。降雨も時々あり、活着率は９０％を越す生長を見ることができた。

植付られた側柏

夕食歓迎会で遷西県政府の買副主席から

①栗の産地づくりのため丘陵地の生態系改善は一層必要な事業である。

②下流地域の水資源確保のためにも必要な事業である。

③日中間の民間交流は植林事業だけでなく幅広く促進したい。

という趣旨の挨拶があった。

わたしは、返答の言葉として、

①皆さんの努力で植林事業が進んでいることに感謝する。

②日中の政治レベルは冷めているが、中国は隣国であり、国民レベルで平和のための友好交流を進めたい。

と挨拶した。。

＜２日目＞6月１１日

早朝から２か所の事業地を視察・調査した。事業地は前日と同様の丘陵地で、ダム上流の涵養林も兼ねており、等高線上に「側柏（コノテガシワ)」が生育していることを見ることができた。

昼食交流会で中国青年連合会幹部が「中国全土では生態系改善のための植林事業はまだまだ必要であり、日本との友好交流も深めたい」と挨拶されたのは印象的であった。

唐山市を後にして北京市にもどり、全国中国青年連合会の関係者と交流を深め、今回の調査を終えた。

日中青年河北遷西県生態防護林 2011 年度～2013 年度（最終年度）
370,000 本　　157ha
側柏、タイマツ、栗、山杏樹、

２０回植林緑化派遣団へのご参加を呼びかけます。

２００４年４月の第一回植林緑化派遣団に先立て２００２年１１月事前調査団、２００１３年９月ＳＡＲＳ禍の下での調査団を実施し、１９回の緑化派遣団と合わせて２１回の派遣を行ってきました。

今回の第２０回派遣団（２０１４年９月　日～日植）はこれまでの事業地の保育状況調査とともに、中国の文化、歴史に触れる友好の旅としました。

これまでの派遣団参加者や関心ある方々に、ご参加を呼びかけます。（詳細は、別添）

【旅・雑感】

１、北京入りした１０日はスモッグ一つないこの季節にしては実に珍しいほどの快適（２０℃ぐらい、湿度３０％以下とか）な気候だった。これは前々日も含めてかなりのスコール（集中豪雨）で、ＰＭ２・５も黄沙も一掃されたからだろう。しかし、帰国前日（１２日）は３６℃で薄いスモッグ発生。

２、日本人旅行者（観光者、営業者）減少か、羽田／北京往復の飛行機搭乗者をはじめ、北京の名所、ホテル等で、今までに経験したことがない程、日本人を見かけなかった。

３、高速道で唐山市にはいると、警備体制が今まで以上に厳重で、ホテルから事業地に通ずる道路、各交差点には警備の公安が複数配置され、通過するまで交通規制を行っていた。（佐藤晴男）

お陰様で最終年となりました。植林地、そして中国の歴史と文化を巡ります。

緑の架け橋プロジェクト
2014年度植林緑化派遣団

●第 20 回植林派遣団

2014 年 09 月 23 日（火）～09 月 28 日（日）6 日間

西安・銀川・石嘴山・呉忠・唐山・北京

【20 回派遣団・予定内容】

前　日　都内にて結団式
1 日目午前:羽田発→西安着（予）
【西安泊】
2 日目,寧夏・銀川へ空路移動
【銀川泊】
3 日目◆中衛市地区植林事業地視察
◇文化遺跡見学（沙坡頭など）
◆第一期事業地「紅寺堡」視察
【銀川泊】
4 日目◆石嘴山市植林事業地視察
◇歴史遺跡見学（西夏王陵）
夕方:空路、銀川→北京
【北京泊】
5 日目◆植林事業地（唐山・遷西県）打合・視察
【北京泊
6 日目午午前:08:45北京発→12:50羽田着（予）
着後、解散！

2004 年 4 月実施された第 1 回派遣団（事業地：紅寺堡にて ）

IFCC 緑の架け橋プロジェクト

日中青年河北遷西県生態防護林事業
寧夏呉忠市太陽山開発区日中青年生態緑化モデル林事業／寧夏中寧県プロジェクト（終了）
日中青年石嘴山市恵農区生態緑化示範林／日中青年銀川生態緑化林事業（終了）
日中青年石嘴山生態緑化林事業（終了）／日中青年寧夏中衛生態緑化モデル林プロジェクト（終了）
寧夏・日中青年平羅県生態緑化林事業(終了)／寧夏紅寺堡生態緑化プロジェクト(終了)

～プロジェクト推進構成～
事業主催団体：IFCC 国際友好文化センター
中国側カウンターパート：中華全国青年連合会
事業実施期間：2011 年～2014 年

【協力】
寧夏回族自治区政府,呉忠市人民政府・石嘴山人民政府,河北省政府,　唐山市人民政府

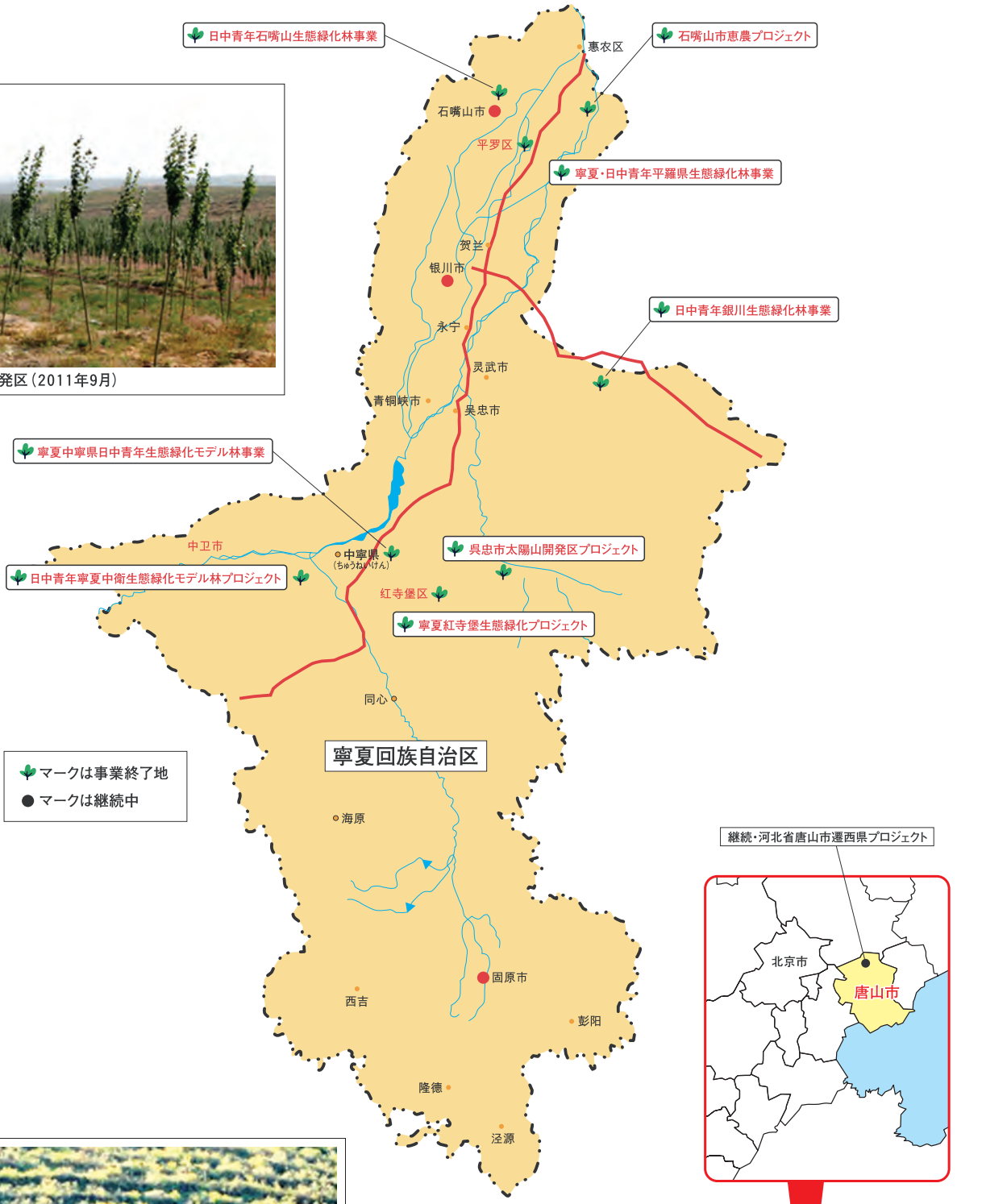
〒162-0801　東京都新宿区山吹町333辻ビル405
TEL:(03) 3268-4387　FAX:(03)3268-6079　MAIL:jvccpf@rmail.plala.or.jp

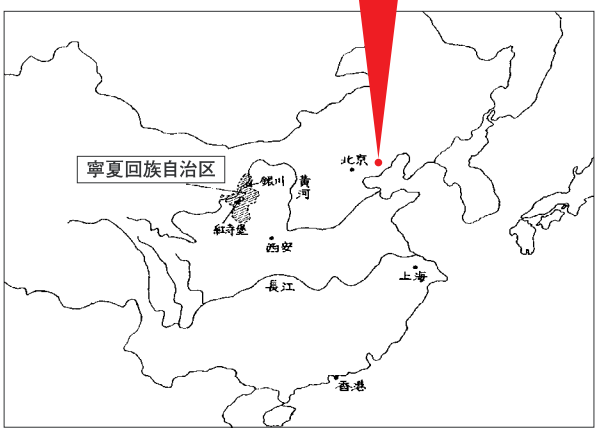
企画主催：ＩＦＣＣ国際友好文化センター「緑の架け橋プロジェクト」
受託手配：共同出資旅行社アイエフシー（東京都知事登録第 3-3757 号）〒162-0801 東京都新宿区山吹町 333 辻ビル 405
Tel：03-3268-6014　FAX03-3268-6079　Email:ifc@trio.plala.or.jp

2013年度（2013年11月～）

「中国植林緑化活動協力事業寧夏回族自治区・河北省唐山市での事業実施図」

呉忠市太陽山開発区（2011年9月）





河北省唐山市遷西県プロジェクト（2011年9月）